

ゆうゆう通信

平成26年9月1日発行 第12号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047

人形劇フェスタ2014

ゆうゆう公演を行いました

八月九日（土）にゆうゆうでは三度目となる人形劇フェスタの開催となりました。昨年までの開催では快晴で真夏の暑い中での開催というイメージがありました。今年は準備の段階で台風の影響が心配されていきました。直撃しないにしても天気が悪ければ、一般の方の参加は望めず、盛り上がり欠けてしまうのではという不安もありました。しかし、当日はのんびり台風のおかげで雨は降らず、曇りのまま終演まで天気が持つてくれました。蓋を開けてみれば、一般の方・利用者・スタッフを含め百二十名近い参加を得ることができました。ボランティアのスタッフも二十名を越す方の協力を得られしっかりとサポートできたと思います。

上演の内容は、今年は二劇団の参加で、一劇団は人形劇団「オペレ」という北海道からはるばる飯田の地にいらして下さった方でした。「オペレ」さんは、飯田の人形劇フェスタより歴史の古い札幌人形劇祭で賞



を取られている方でした。二本立てで上演して下さい、昔話を盛り込んだような内容もあり利用者の方々にも好評でした。また、「ポテトの唄」という演目では、ジャガイモの歌（地元）に実在する歌のようですが）を歌いながら北海道を前面に押し出しながら、最後に大量のジャガイモが箱から飛び出してきて、来ていた子供達も大喜びでした。もう一つの劇団は人形劇団は、

「きやべつ村」という栃木からいらして下さった劇団の方でした。「きやべつ村」さんは、糸で操る人形（マリオネット）を巧みに操り、人形が丸太の上を慎重に渡るところを臨場感を出して表現したり、骸骨の人形が音楽に合わせて軽快に踊っているところを見せてくれました。細かい動きを全て吊った糸で上から操作しており、来場者からは「操り人形がすごかった」という多くの声を頂きました。同時に子供達は大きな声で笑ったり、驚いたりとても満足していたように感じます。子供を囲むようにして座っていた利用者の方々も子供達の喜ぶ姿を見て、にこやかな表情をされていました。

今回も例年と同様に劇団の方々の良い上演に恵まれ、一般の方の大勢の参加もあり、盛況のうちに人形劇フェスタを終わることができました。三回目となりゆうゆうでの人形劇フェスタ開催が定着しつつあります。ゆうゆうにて公演を行うことにより、施設を知っていただく良い機会となりますし、施設の中にも入って頂く機会にもなり良い地域交流が図れるのではと考えます。参加人数が年々増えており会場をどうするか、といううれしい悩みはありますが、利用者の方々への楽しみの一環として、ゆうゆうの行事としても、人形劇フェスタゆうゆう公演が今後も開催していくことができたいと思います。



ゆうゆう夏祭り (入所)

今年のゆうゆう夏祭りは昼の部、夜の部の二部構成で行われました。昼の部は二階三階各階に分かれて実施しました。

暑い夏を乗りきれようと願いを込め、土用の丑を兼ねて、昼食は鰻をいただきました。鰻はふっくらしていて柔くてとても美味しかったです。鰻は夏祭りのポスターに書いてあったので何日も前から楽しみにしていた方もいて、配られると皆さん喋ることなく無言であつという間に食べ終えていました。中には感想を聞くと「今、鰻食べた？」と聞く方もいた程、夢中なようでした。

午後のおやつにはアイスクリームを食べました。果物など好きな物をトッピングして、いつもより手が込んだ味に「美味しい！」と笑顔で喜んでくれました。

夜の部では、日中も三〇度を越す猛暑だった為、暑さが心配されましたが、打ち水や飲み物準備と万全の対策でこの時を迎えました。

気持ちの良い風が吹いてくる中、ボランティアクラブ『ハナハウポリネシアンレビュー』の皆さんによるフラダンスからスタート。子供さんチームによるかわいらしい姿に、利用者様の目尻は下がりっぱなし。そして大人チームの方の三回程の衣装替えの華やかさに常夏の気分が味わえ、普段の生活ではなかなか見ることができない世界に一曲終わる毎拍手が湧きました。



途中、素敵な衣装を着させてもらい一緒にフラダンスを踊った方もいらっしゃいました。腰つきといい、手のしなやかさといい、なかなか上手な踊りで大いに盛り上がりました。踊った利用者様は とても楽しそうでした。

続いて職員之余興が行われました。職員の出し物は「ヨサコイソーラン」と「大縄とび大会」でした。ヨサコイソーランは、会場からは「どっこいしょ！」の掛け声あがり盛り上がりしました。大縄跳びは二階と三階の職員に分かれて対抗戦で行いましたが、練習の割にすぐ引かかってしまい、大成功でなかった所が、また笑いを誘う場面でもありました。最後の締めは仕掛け花火。だいぶ陽も沈んで来た中、ナイアガラは印象的でした。

また今年は、竹宵まつりで使用した竹筒を南信州おひさま進歩からお借りし点火しました。

帰り道のウッドデッキを雰囲気良く照らしてくれ、夏祭りの盛り上がるの余韻を残すかのようでした。

後日、夏祭りの模様のビデオ鑑賞会をし、昼間のお楽しみ時に映った自分や夜のフラダンス等に、「二度楽しめた」とのお声を沢山もらいました。

日常の中の特別な一日を楽しんでいたことができて良かったです。



ゆゆうゆう新任職員紹介



今年の四月から二階のBチームに勤務しております、介護員の原 江里です。今まで経験した事のない固

定チームナーシングに不安がありました。先輩職員の方々に優しく丁寧に教えて頂き不安も取り除かれてきました。まだまだわからない点が多々ありますが、一生懸命頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



今年の二月から栄養管理係に調理員として勤務しております林 亜矢子です。働かせていただくように

なり四月月ほどが経ちました。今はまだ先輩方から教えてもらおうことばかりで迷惑をかけていますが、早く仕事を覚えていきたいと思っています。よろしくおねがいします。



四月より栄養管理係に調理員として勤務しております宮澤美佐子です。以前も調理の仕事をして

いましたが、すばらしい設備の中、仕事ができることに感謝しています。日々先輩方のご指導もあり頑張っています。よろしくおねがいします。

今年も作りました。グリーンカーテン

ゆうゆうでは、ISO環境マネジメントシステムの取り組みの一環として今年もグリーンカーテンに取り組んでいます。

五月中旬にゆうゆう職員による環境整備作業の折に、職員のお子さんにも協力いただきゴーヤやへちまの苗をプランターに植え付け、立派なカーテンを作るために欠かせない網を一階のデイケア、二階のウッドデッキスペース、二階、三階の東・西側、と昨年以上に範囲を拡大して設置しました。

二階のウッドデッキスペースにはアーチ型の支柱を設置しましたので窓との空間もでき、風通しのよいグリーンカーテンとなりました。

葉を密に茂らせるために、苗が小さいうちから新芽を摘み、脇芽を伸ばせるように手入れをしたり、ネットが実の重さで耐えられなくならないように、実の摘果をしたり、利用者様と一緒に水やりや追肥を行いながら、大きくなる実の成長を楽しんで世話をしました。

途中アブラムシの被害にあいながらも、日当たり



の良いところは、日除けになるくらいにしっかりと育ちました。

ゴーヤはたわわに実ってとてもたくさん収穫でき、その実を使って佃煮を作ったり、日差しを遮るカーテンとして涼しむだけでなく実もおいしくいただきました。

来年は、もう少し調理の幅が楽しめる小さなかぼちゃにも挑戦したいという声もあります。

グリーンカーテンは直射日光を遮り、建物に日陰を作るまさに「天然の日傘」。体にも地球にも優しい天然のエアコンです。

植物の力で、今年の夏の暑さを和らげることができ、利用者様と一緒に植物の生育を楽しむことができました。



デイケア防災訓練

七月二十三日（水）の午後の暑い中、通所リハビリテーションの避難訓練を実施しました。

今回で二回目の訓練となりますが、厨房から火災が発生したという想定で、ウッドデッキを通り、スロープや階段を使って公園のあずまやまで避難しました。

デイルームから十分足らずで、利用者様二十四名、職員十名の避難と、書類等の運搬が完了しました。

職員が付き添って、まずは歩ける方から避難し、次に歩行不安定な方がデイの車椅子に乗って避難し、最後に車椅子の方を誘導するといった順序で行いました。

消防署の方より、少しでも早く建物から出るように、ウッドデッキに一次避難するやり方を提案されたので、今後の訓練に反映していきたいと考えています。

ご利用者様にはご協力いただき、ありがとうございました。



介護ワンポイントアドバイス⑨

一、ポジショニングとは

・病気や加齢などの原因により自分で寝返りがとれない方に対して、安定や安楽な姿勢を提供すること
二、頻度は

・寝返りがうてずに体位変換を必要とされる方は二時間ごとの変換が一般的です

・（表一）で示した通り、ポジショニングの目的は色々あります。特に重要なのは褥瘡予防と拘縮変形予防です。

・そもそも、ポジショニングには二つの目的が考えられます。①身体を安定させ保持すること、②動きを促進し能力や可能性を広げるために支持をすることです。

②はよりリハビリ的な視点が強く、専門的な知識や特殊なクッションなどの準備が必要です。

今回は①身体の安定した保持を中心に図を用いて説明します。

仰臥位（上向き姿勢）

ポイント①は骨盤の捻じれが無いか確認することです。（図A）

半側臥位（軽い横向き姿勢）

ポイント①は①肩と骨盤の線が捻じれていないか、②左右の肩―腰の長さは等しいかを確認することです！（図B・図C）

背骨の曲がった方は図Cの下側の線の長さが短くなりやすいため、頭の位置を少し後ろにすると良いと思います。

●褥瘡予防	●浮腫・呼吸の改善
●拘縮/変形予防	●姿勢の安定により活動を促す
●筋緊張の緩和と調整	●座位や立位の準備として

ポジショニングのポイント



図C

図B

図A

編集後記

九月になり、まだまだ暑さは続くものの真夏の暑さとは違い、夜は涼しく、少しずつ虫の鳴き声が聞こえ始め、秋の気配がしてきました。寒暖の差も少しずつ大きくなってきたので、体調には充分気を付けて過ごして下さい。

また秋といえば芸術の秋、食欲の秋など色々ありますが、みなさんはどんな秋を過ごすのでしょうか。栗や银杏など食べ物が美味しくなる季節ですが、食べ過ぎには注意して下さいね。（近）

